あなたと県を結ぶホット・コミュニケーション

県民の友

8月号
平成15年【2003】
No.780

〒640-8585　和歌山市小松原通1-1　☎073（432）4111　http://www.wakayama.go.jp/

和歌山県

発行／和歌山県知事公室広報室

主な記事

2面　県議会6月定例会の概要
3面　煙たがられる　たばこの煙
4～5面　和歌山ブランド売り出し中！
市町村合併ニュース

元気の森へ遊びにおいでよ！

「根来山げんきの森」と「緑花センター」を紹介します

岩出町は根来寺のすぐ東側、広域農道沿いに県立の2つの公園があります。

一つは、「人が育てる森　人を育てる森」を合言葉に、多くのボランティアの協力で整備・運営されていて、この5月にオープン一周年を迎えた『県立森林公園　根来山げんきの森』。そして、もう一つが、昭和54年の開園以来、500万人を超える方々にお越しいただいた『県植物公園　緑花センター』です。

散策するも良し、草木・花などを観賞するも良し、森林体験・ゲームや各種教室に参加するも良し。ぜひ一度、隣接する2つの公園で1日ゆったりと過ごしてみてください。心が元気になること請け合いです。

わんぱく広場

根来山げんきの森の魅力を語る

根来山げんきの森倶楽部（くらぶ）　副会長　赤阪 進さん

この森の1番の魅力は、やはり『人』だと思います。休園日以外は常時2人のボラバイター(ボランティアとアルバイターの合成語)がいて、声をかけてくれれば、森に住むさまざまな生き物や草木の話をしたり、木を使った工作の指導をしたりしています。ここには、緑花センターのように大きな遊具はありませんが、来園の皆さんには、自然のありのままを味わい、楽しんでもらいたいですね。

経験、体力、老若男女不問！

根来山げんきの森倶楽部 ボランティア会員募集

作業予定　毎月第3日曜日 9:30～15:30
作業内容　里山整備、歩道づくり、クラフト等
申込・問合　☎073(432)6028(事務局 岡田)

県植物公園 緑花センター

開園時間　9:00～17:00
休 園 日　毎週火曜日(祝日の場合は翌日)
　　12月28日～31日(正月は開園)
入 園 料　大人260円、小人(小・中学生)100円
　　(65歳以上の方、障害者の方は無料)
駐 車 料　無　料

ハス池

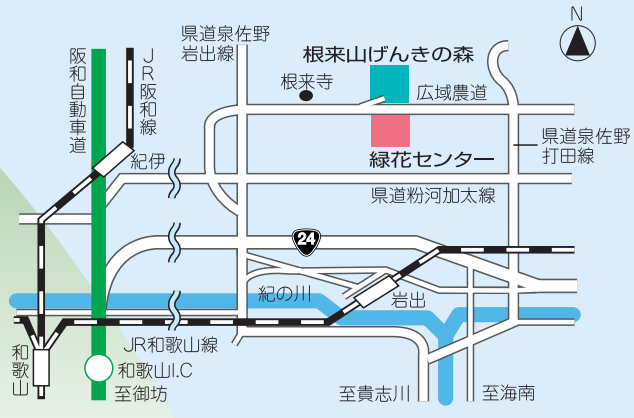
※園芸教室など各種教室の開催は、
県民の友等でお知らせしています

温室

パノマラ花壇

県立森林公園 根来山げんきの森

開園時間　9:00～17:00
休 園 日　毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日～2月末日
入園・駐車料　無料
注意事項　植物等採集・火気使用は禁止



問い合わせ
県庁森林整備課 ☎073(441)2973

古紙配合率80%再生紙を使用しています。

県議会だより 6月定例会の概要

平成１５年度県一般会計補正予算、県税条例の一部改正条例、債務額確定調停などの案件を可決

会期　6月13日から7月1日までの19日間

知事あいさつ（要旨）

地方分権の推進

国で検討されている地方分権改革は、国と地方における役割のあり方の議論を基に推進されるべきで、地方税財政制度においても、国庫補助負担金・地方交付税・税源移譲のあり方について、文字通り、「三位一体」の改革とすることが重要であり、経済財政諮問会議のいわゆる「骨太の方針第3弾」の審議動向を注視しながら、地方主導の改革となるよう国に対し機会をとらえて働きかけていきます。

最近の県政の主な動き

去る4月21日に「新ふるさと創り特区」が構造改革特区第１弾認定を受けたところであり、これにより都市から地方への人口の逆流動を起こす「新ふるさと創り」を推進していきます。また、「緑の雇用事業」と農業分野への展開を支援するため和歌山版「農業をやってみよう」プログラムの提案、県産品の販路開拓を目指して首都圏・関西圏などで「和歌山フェア」を開催し和歌山ブランドの定着を図っています。この他「ＩＴビジネスモデルの実現」「新型肺炎対策」「東南海・南海地震対策」「道路網整備促進」「市町村合併」「コスモパーク加太対策」などについても県政の重要課題と位置づけ重点的に取り組んでいます。

可決された議案等

議案は、知事提出の予算案件3件、条例案件7件、人事案件2件、その他の案件5件が提出され、いずれも原案どおり可決・同意されました。

請願は、1件が新規受理され、継続審査することになりました。

意見書は、3件が提出され「三位一体の改革に関する意見書」・「東南海・南海地震に備えた近畿自動車道紀勢線の整備促進に関する意見書」の2件が可決されました。

質疑及び一般質問は、15人の議員が登壇し県政の諸問題について活発な論議がされました。主な質問と、これに対する知事や関係当局の答弁要旨は次のとおりです。（要約抜粋）

コスモパーク加太債務保証問題

県と土地開発公社の関係は、法的には別組織だが、県が100%出資して設立している法人であり極めて密接な関係にある。

当時は、今のような経済情勢は誰も想像したわけでなく、金融機関は県と公社は一体であるとの認識のもと県の保証なしに融資したものと考えるが、今回の債務保証問題について、県としては金融機関にも一定の責任があると考え、県民が不当な損害を被らないように、三者がそれぞれ相応に負担を分かち合い協調することで解決したいと考えている。

仮に交渉が合意に至らず6月末の償還期限を迎えた場合は、いろいろな手法を視野に入れ、引き続き鋭意交渉していく。

グリーンピア南紀

グリーンピア南紀はすばらしい施設であったが、赤字がどんどん累積するという中で、非常に苦しい選択であったが清算することを決定した。今般、地方裁判所において、県と地元の２町が債務を負担するべきであるとの調停案が示されたので、県は、それに基づき対応することに至った。

跡地利用については、那智勝浦町・太地町が年金資金運用基金から施設管理を受託し、野球場、テニスコート、園地等について住民に開放していく方向で協議している。

平和行政の取り組み

我が国は、恒久平和を国是としているが、最近の不穏な世界情勢をみると、「危機管理」について定めていないのは適切でないと思う。今般、有事三法が成立したが、今後は、有事法施行後１年以内に検討することになっている国民保護法制の整備に向け、県民が十分に保護されるようなものになっていくよう関係機関に要請していこうと考えている。

関西国際空港問題

関空に対する県の取り組み

米国同時多発テロ以降、イラク戦争、SARSの流行などの影響も加わり、関空の航空需要は極端に低迷している。構造的なハンディキャップ解消のため、3月に経営改善計画が出され、国も90億円の投入を決めた。また、特に、この度初めて民間から社長が登用されたことで、その経営手腕に期待しているところである。

県としては、羽田行きのシャトル便や国内線減便の問題、高い着陸料や連絡橋・駐車料金など具体的な課題解決のために、国に対し、国策空港としての更に大きな支援を求めていく。

新型肺炎（SARS）対策

幸いなことに、SARSはこのところ外国においてもやや症例が減少し、県内では感染を疑われる者の報告はないが、依然として油断できない。

県では、相談窓口を各保健所に設け、24時間体制で対応したり、情報提供及び啓発活動をおこなっている他、緊急時の整備対策として、発生時に患者を搬送するためのアイソレーター搭載搬送車輌の購入、菌が外に出ないための陰圧装置などの整備を行った。今後も、「危機管理」に万全を期していく。

前立腺（せん）がん検診

前立腺がんの検診と治療については、専門家間で様々な意見・見解があるが、県としては、速やかに情報を収集し、市町村にも情報提供して意見を聞く中で、検診の普及や市町村での検診導入について検討していく。

准看護師の看護師移行教育

准看護師の中で、看護師移行を望む声が高まっており、県は看護教育の重要性という観点からも看護師受験資格を取得するため、2年制通信課程導入に向け関係機関と協議を進めたい。

最初は、全国で8カ所程度しか補助金が出ないことや教員の確保など難しい問題もあるが、受講希望者の調査等をし、来年度か、再来年度を目指して検討していく。

環境立県和歌山に向けた提言

先陣をきる政策

地球温暖化対策は、CO_2吸収源対策と排出量の抑制の両面を適正に行うことが重要である。県は、排出源対策の第一歩的な活動として、本年度は家庭における省エネモデル実践活動に取り組んでおり、この成果を広く普及啓発していきたい。今後、京都議定書の発効などにより、CO_2排出権取引などの動きが具体的になると予想されるが、それまでに我々が、いろいろな知見を蓄えておくことが非常に大事なことと考える。和歌山県は「緑の雇用事業」や世界遺産登録などで全国的にも環境を大事にする県とのイメージが浸透してきており、このような取り組みを積極的に進めることが重要である。

ミカン消費拡大に全力を

県では、消費拡大に向けマスメディアでのＰＲやアンテナショップ、農林水産フェアの開催の他、発がん抑制効果があると言われるミカンの機能性に着目し、新たな視点からの消費拡大に努めている。今後は、食の改善と学校教育を連携しながら、消費拡大に全力をあげていく。

「紀州木の国」

世界遺産登録後の景観保全

県では、平成13年度から「緑の雇用事業」を活用して熊野古道・高野山町石道などの世界遺産登録周辺森林について、見晴らしの悪い箇所や荒廃した森林などの景観保全に取り組んでいる。今後は、伐採後、植栽されずに放置されている箇所に広葉樹を植栽し、自然環境豊かな森林づくりを進めていく。

農業再生

就業支援・販売戦略

現在、県では、「緑の雇用事業」を推進しているが、本年度は、都市の人などが、主に農地の賃貸借等により所有者に代わって農業生産をする「新たなつくり手」施策に取り組んでいる。その支援策として、遊休農地を活用した農地の提供や技術の習得、地域への定着などについて、和歌山版「農業をやってみよう」プログラムで検討を進めている。

また、時代に即応した販売戦略として、インターネットでの販売や、首都圏でのソフトアンテナショップへの参加などを支援していく。

東南海・南海地震対策

「命の道」となる高速道路の整備

都市の人を中心に田舎の高速道路は要らないという声があるが、県が発展していくためには、高速道路の南進は欠かせない。

時あたかも東南海・南海地震の問題が出て、国道42号だけでは住民の命は守れないため、防災面でも高速道路整備が大事である。このため、7月に東京でシンポジウムを開催し、その必要性を広く訴えていきたい。

本年１１月実施の「学力診断テスト」

学校週5日制のもと、新しい学習指導要領が実施される中で、児童生徒にどの程度学力が定着しているかを把握するため、県内全ての小・中学校を対象に行うものである。その分析結果を基に学力の向上を目指した行政施策を総合的に行っていく。

海洋型レジャー事業の取り組み ナショナルトレーニングセンター誘致

和歌山は、海洋として非常にすばらしいものがあり、日本セーリング連盟からも、風・波・海流等自然条件や交通アクセスの利便性においても抜群との評価をいただいた。海洋型レジャー事業の看板として、７月に世界の英雄ラッセル・クーツ氏が来県し、記念のヨットレースなどのイベントが開催されることも和歌山の海の魅力を広く内外に発信する絶好の機会であり、工夫を凝らして、そのポテンシャルを力強くアピールしたい。誘致についても、実現に向け関係機関に最大限の働きかけをしていく。

エコポリス体制、活動内容

増加する産業廃棄物不法投棄等悪質な環境犯罪から県民の生命、身体を守るため警察本部に「エコポリス」体制がある。環境犯罪の中でも特に悪質な県民の健康を直接脅かす有害物質にかかる事犯、行政指導を無視して行われる事犯、暴力団が介在する事犯などに重点を置いて活動しており、今後とも、関係者の協力を得ながら取り締まり強化及び犯罪の未然防止に努めていく。

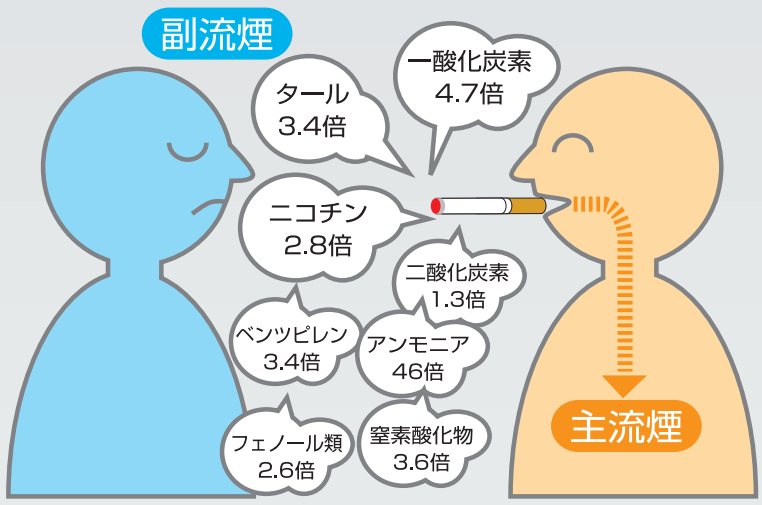
煙たがられています。たばこの煙

たばこの煙には、約200種類の有害物質が含まれ、そのうち40種類以上が発がん物質や発がん促進物質です。また、喫煙者が直接吸い込む主流煙に比べ、たばこの点火部から立ち上る副流煙にはより多くの有害物質が含まれています。

今年5月から施行された健康増進法では、駅・バスターミナル・金融機関・飲食店・ホテルなど多くの人が集まる場所や施設を管理する者は、他人のたばこの煙を吸わされる受動喫煙の防止に努めるよう規定されました。

同じ空間を利用する者同士が健康に配慮し合い、気持ちよく快適に過ごせるよう職場・家庭での環境を整えるよう努めましょう。

副流煙に含まれる有害物質（主流煙との比較）



喫煙対策の実施状況

平成14年に県内事業所を対象に行われた調査では、県内の労働者数50人未満の事業所では、56.9%の事業所で何らかの喫煙対策が実施されていました。うち対策として多かったのが、喫煙場所の設置(31.9%)や会議室・研修場所の禁煙(16.7%)、空気清浄機等の設置(12.5%)、禁煙タイムの実施(11.1%)等になっています。

また、労働者数の多い事業所ほど喫煙対策が実施されている率が高くなっています。さらに、金融機関や役場など全面禁煙を行っている事業所も増えています。

単位：%

	実施している	実施していない	無回答
労働者数50人未満	56.9	41.7	1.4
労働者数50人～100人未満	72.0	27.1	0.9
労働者数100人以上	85.3	14.7	－

平成14年産業保健調査：和歌山産業保健推進センター

県庁では限られた喫煙室以外はすべて禁煙とし、受動喫煙対策を行っています。また、公立学校では敷地内はすべて禁煙となっています。

県民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

私たちも禁煙を応援します。

禁煙指導薬剤師　原　隆亮さん

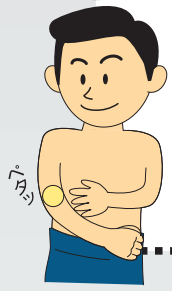
現在、禁煙講習を受けた禁煙指導薬剤師51人が、全国に先がけ県内で禁煙サポート薬局制度をスタートしています。薬局に禁煙啓発コーナーを設けて、立ち寄られたお客さんが調剤等の時間待ちの間に興味を持っていただけるようにしています。私自身も昔タバコを吸っていたので禁煙されている方のつらさはよく分かります。従来は、その有害さや金額面など喫煙のマイナス面の啓発がほとんどでしたが、私たちはごはんがおいしく食べられるなど禁煙の良さを知ってもらって、禁煙が続けられるよう支援しているんです。

県のホームページでは禁煙外来医院、禁煙サポート薬局を掲載しています。
http://www.wakayama.go.jp/prefg/050300/

問い合わせ　県庁健康対策課 ☎073(441)2656

禁煙お助けグッズ・方法

禁煙するんだという**強い意志**を持ち、周りの人に**宣言**する事が大切です。



ニコチンパッチ・ニコチンガム
ニコチンのみを含有するニコチンパッチ（医師の処方が必要）やニコチンガムはイライラなどのニコチン切れ症状に効果を発揮。

運動
散歩や軽い体操、深呼吸をするなど体のどこかを動かし、いつもより多めの睡眠を取る。

タバコの誘惑を避ける
禁煙開始後すぐは、宴会などたばこの煙のありそうな場を避ける。その場で禁煙していることを宣言するのも有効。

食事
アルコール、コーヒーを控える。また、野菜は有害物質を排除する手助けとなるので多い目に取る。吸いたくなったときは冷たい水、氷、熱いお茶を一口飲む。ガム、スルメ、干し昆布等で口寂しさを紛らわすのも効果あり。

禁煙マラソンに参加
たとえばインターネットのメール機能を利用して、禁煙した人に励まされながら禁煙を続けていくなど、禁煙マラソンに参加する。

禁煙すると…

- **20分後**　血圧、脈拍、体温が正常化
- **8時間後**　運動能力が改善する
- **24時間後**　心臓発作の確率が下がる
- **48時間後**　においと味の感覚が回復し始める
- **48～72時間後**　気管支の収縮がとれ呼吸が楽になる
- **2～3週間後**　体循環が改善し歩行が楽になる
- **1～9カ月**　せき、静脈うっ血、全身けん怠が改善する
- **5年後**　肺がんの確率が半分に減る
- **10年後**　前がん状態の細胞が修復される

（American　lung　associationのパンフレットより）

自分の健康状態をチェック！

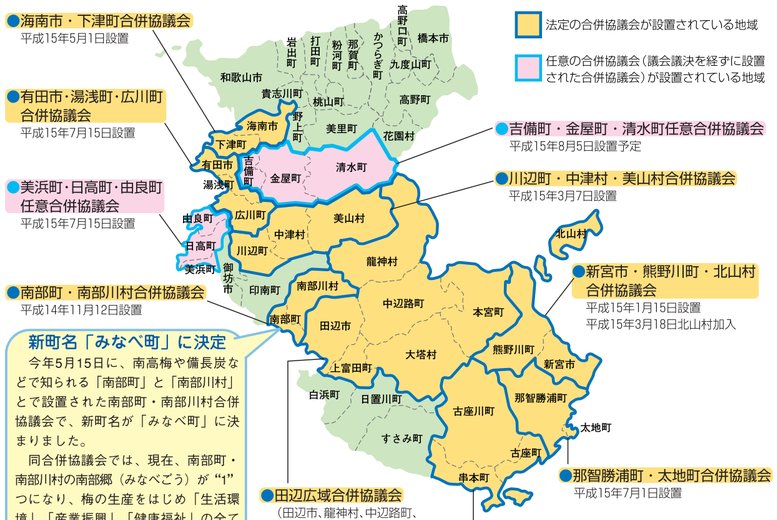
健康を守るのは、もちろん喫煙・禁煙対策だけではありません。何よりも自らの健康に対し関心を持ち、栄養面、運動量、睡眠時間など生活習慣の見直しや健康状態を把握することが大切です。

そのためにも、皆さんがお住まいの市町村や職場で、健康診断や各種のがん検診などが行われていますので、是非受診してください。

市町村合併ニュース

県内における取り組み状況（7月15日現在　議会議決済みを含む）

6割の市町村が合併協議会へ参加！



新町名「みなべ町」に決定

今年5月15日に、南高梅や備長炭などで知られる「南部町」と「南部川村」とで設置された南部町・南部川村合併協議会で、新町名が「みなべ町」に決まりました。

同合併協議会では、現在、南部町・南部川村の南部郷（みなべごう）が“1”つになり、梅の生産をはじめ「生活環境」「産業振興」「健康福祉」の全てにおいて“1”番をめざす「南部郷1（ワン）」をスローガンとして、両町村合併へ向けて協議が重ねられています。

新市のスタートをめざして

田辺広域合併協議会　森章二事務局長

●なぜ合併なのでしょうか

この地域は65歳以上の高齢者比率が約22%と全国平均を大きく上回る状況で高齢化問題は深刻です。また、就労の場の確保や過疎化、少子化などその他にもたいへんな問題を抱えています。地方分権が進むなか地方の仕事と責任が大きくなる一方で、財政的にも現在の市町村単独での取り組みが困難となってきているんです。広域的な観点からこの地域の多様な地域資源を今まで以上に連携させることで生き残っていくことができます。その解決策の一つが合併なんですね。

●合併に対して住民の方の不安はありませんか

新しいまちづくりに向けての住民アンケートでは、「合併後の中心地域と周辺地域で格差が発生」や「住民サービスの低下」、「住民の声が届きにくくなるのでは」といった不安の声もありました。こういった意見をふまえて、新市での議員数や支所、地域審議会などの行政組織の検討もしています。

●今後については

新市づくりの基本方針である「市町村建設計画」をとりまとめているところで、秋頃には案ができあがる予定です。新市名称の選定や住民福祉サービスの内容と住民負担をどう調整していくのかなど多くの課題を抱えていますが、それを一つひとつ解決し、新市のスタートがうまく切れるように各市町村の皆さん共々頑張っています。

市町村合併の手続き

- A市長 ↓ A市議会の議決
- B町長 ↓ B町議会の議決
- 合併に関する事前協議
- ↓ 法定合併協議会の設置

合併の協議

- 合併協議会とは
  合併しようとする市町村は、市町村の合併の特例に関する法律に基づき、合併協議会を設置し、合併に関する協議や市町村建設計画の作成を行います。
- 合併に関する協議事項
  合併の是非、合併の時期・形態、新しい市町村の名称、役所・役場の位置、税金、使用料、合併後のサービス水準、市町村建設計画など
- 合併協議会のメンバー
  市町村長、市町村議会議員、学識経験者　ほか

↓

合併の申請

- A市議会の議決 ↓ B町議会の議決 ↓ 知事への申請
- ↓ 県議会の議決を経て知事が決定
- ↓ 総務大臣への届出・告示
- ↓ **新しい市町村の発足**

市町村合併に関する情報は、県ホームページ（http://www.wakayama.go.jp/）に掲載しています。
市町村合併に関するご意見、ご質問等は、県庁市町村課合併推進室　☎073（441）2196、または最寄りの振興局地域行政課までお願いします。　Eメールアドレス　sichoson-gapei@pref.wakayama.lg.jp

和歌山ブランド売り出し中！

問い合わせ　県庁マーケティング企画課 ☎073(441)2811

インターネットでも

県が中心となって平成13年10月から運営している「ふるさと和歌山わいわい市場」では、和歌山の優れた産品をインターネット上で紹介・販売し、県産品の良さを県内外に発信しています。

多彩な商品をギューッと詰め込んで！

「ふるさと和歌山わいわい市場」

http://wiwi.co.jp/

今すぐアクセス！

1. 紀州自慢の商品を多種多彩に品揃え
2. ふるさとの真心こもった産地直送品
3. 作り手と買い手との架け橋

新着お買い得情報のコーナーです
出店者からの掘り出し物、格安商品、旬のもの情報が満載。

送料込み商品コーナーです
送料込みのお得な商品が揃っています。

購入者の声より
「わいわい市場」見てても
楽しい♪
何買おうかな〜〜♪
って見ることができて‥‥
梅干も買ったけど…
今日ぐらい着くかな？？
楽しみ楽しみ♪
次に買うものも実は…
決まってるよ♪
わくわく…そわそわ…

その他にも面白い書き込みがたくさん入ってます。お買い上げの参考にしてください。

「なんでも聞いて屋」へ
和歌山発の野菜から伝統工芸品まで、健康にええもん、暮らしにええもん、心にええもん、とにかくええもんの特産品情報が満載。物産のウンチクが知りたいときはいつでも寄ってみてね。

出店募集はここにあります

（有）中井水産　中井富弘さん

こだわり製品を販売しています。

「灰干乾燥（はいぼし）」によるこだわりの「さんまの開き」をわいわい市場で販売しています。従来市場だけに卸していたんですが、これからはインターネットが有力な販売方法になると思って力を入れています。遠隔地の方からの注文もいただけるのでありがたいです。「わいわい市場」には、うちの商品もそうですが一度買うとまた欲しくなるような商品がたくさん出ています。一度「わいわい市場」にお立ち寄りください。

首都圏でも

県では、農林水産物などの一次産品や、加工品・伝統工芸品などの二次産品など、あらゆる県産品の質の向上とPRを通し、県産品のブランド化に取り組んでいます。特に今年度は県の組織改正でブランド推進局を設置し、販路開拓に関する事業を集約させ効果的な実施をめざしています。

その一つとして、大手量販店イトーヨーカ堂と提携して、今年4月には地元事業者との商談会を実施し、6月には横浜市内で※ソフトアンテナショップを開催しました。今後10店舗程度で同様のイベントを開催し首都圏に販路を拡大することで、和歌山ブランドの定着を図るとともに和歌山のイメージアップを推進していきます。また、4月から県職員2名を同社に派遣しており、その仕入れから流通・販売にいたる技術を学び、それを県内生産者に伝え活用してもらうこととしています。

※ソフトアンテナショップ
商品に対する消費者の反応を知るために、従来の直営店方式ではなく、大手量販店の店舗網を活用し、一週間毎に移動式で行うショップをいいます。これは全国で初めての試みで、ここで得られた情報は生産者などにお返しし、今後の活動の参考にしていただきます。

「和歌山まるごとフェア」開催

6月4日〜9日の6日間に横浜市内でソフトアンテナショップ「和歌山まるごとフェア」を開催し、和歌山県産品のＰＲと販売を行いました。

青果（青梅、新しょうが等）、干物、梅干し、かまぼこ、しょうゆ、菓子類（えびせん、飴、ゼリー等）、ゆず製品、ラーメン、寿司、酒類、ジュース、漆器、備長炭等の和歌山の産品がスーパーの売場に並びました。

店を訪れた消費者は和歌山の商品を興味津々、手に取ったり、試食したり、質問をしたりして、納得しながら買い物をしていました。「おいしいわ」といっていくつもの商品を買っていくお客さんもたくさん見られました。

また、大手量販店側主催の「和歌山フェア」等も首都圏を中心に175店舗で開催され、この期間中、和歌山まるごとフェアを含め全体で約1億4千万円を売り上げ、大盛況となりました。

出品に至るまで

4月10・11日	出品希望者を対象にした県説明会実施
▼	出品希望者の書類提出
▼	大手量販店による書面審査
4月25日	出品希望者との商談会開催
▼	
6月4〜9日	「和歌山まるごとフェア」開催 出品51業者　158品目

県内事業者との商談会風景

県に仲人役になってもらいました。

（有）奥有田食品　辻井良彰さん

有田地方は山椒（さんしょう）生産日本一ですが、実をそのまま使った珍しい商品の山椒煮を「和歌山まるごとフェア」で置いてもらいました。売り上げは目標まで達しなかったですが、フェア終了後買っていただいたお客さんから追加注文をいただくなど反響もありました。今回のフェア出品は「お見合い」みたいなもので、これを機会に今後も定期的な取引ができるように、これから仕入れの担当者へ積極的に売り込みをしようと考えています。

出品事業者募集

県では、量販店等で販売する優良な県産品を随時募集しています。また、現在秋季以降の「和歌山まるごとフェア」への出品を募集中です。
販路開拓に意欲のある生産者の方は、各市町村産業担当課【和歌山市の場合は県庁マーケティング推進室☎073（441）2815】へお問い合わせください。

時…期日・時間　費…費用
場…場所・会場　申…申込・応募方法
定…定員　問…問い合わせ
対…対象・資格　抽…希望者多数の場合抽選

和歌山県のホームページは　http://www.wakayama.go.jp/
県庁・県教育委員会への
郵便は　〒640-8585（県庁専用郵便番号、住所記入不要）○○○課あて
電話は　☎073（432）4111

おしらせ information

各振興局代表電話　海草 県庁代表と同じ　那賀 0736(63)0100　伊都 0736(34)1700　有田 0737(63)4111　日高 0738(22)3111　西牟婁 0739(22)1200　東牟婁 0735(22)8551

募集

「女性総合政策研究塾」受講生
地域の活性化のため、県内外の成功事例を調査・研究し、新しいふるさとづくりを考える
時 9月20日、10月4・11日、11月29日、12月13日、1月24日、2月14日(いずれも土曜日10:00～16:00)及び県外調査1回
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
対 県内在住で20歳以上の女性
定 30人
申 所定の申込用紙に論文(1,600字程度)を添付して8月22日までに県男女共生社会推進センター、各振興局県民行政部総務課
問 申込先(県男女共生推進センター☎073(435)5245)

県シニアマイスター登録者
対 人生経験で培った知識や技術等を持つ県内在住の60歳以上の方で、その分野でおおむね5年以上の経験・実績があり、他者にそれを伝える意欲・熱意のある方
分野 伝統・伝承、歴史・民俗、農林漁業、趣味・娯楽、スポーツ、情報通信等
申 所定の申込書で8月29日までに県庁長寿社会推進課、各振興局健康推進課、各市町村役場
問 申込先

こころの健康講座
「セルフケアを通して、生きなおしを考える」講師:播磨靖夫氏
時 9月29日(月) 13:00～15:00
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
定 100人(先着順)
申 電話又はFAXで住所、氏名、電話番号を9月19日までに県精神保健福祉センター☎073(435)5194 FAX073(435)5193
問 申込先

ガイドヘルパー養成研修
対 現在ホームヘルパーとして従事している方、ホームヘルパー養成研修修了者、介護福祉士
時・場
重度視覚障害者研修課程
和歌山市＝10月14～16日
和歌山市(1・2級ヘルパー、介護福祉士専用)＝10月28～29日
田辺市＝11月18～20日
重度脳性まひ者等全身性障害者研修課程
和歌山市＝10月14・23・24日
定 各40人　抽
申 8月25日までに各市町村役場
問 県庁障害福祉課

要約筆記奉仕員養成講座
耳で聞いた情報を書き留め、聴覚に障害のある方に伝える
時 9月9日～11月25日の毎週火曜日 13:00～16:00(計11回)
場 県身体障害者総合福祉会館(和歌山市)
費 1,000円(テキスト代)
申・問 要約筆記会
山田　☎073(445)0881
※9月9日会場受付可

障害者パソコンボランティア
派遣希望者
対 障害者の方で、自宅でパソコン操作を指導してほしい方
養成講座受講希望者
時 ①9月20・21日②10月18・19日③11月15・16日　※いずれも土・日曜日2日間の受講必要
対 障害者の方の自宅でパソコン操作を指導するボランティア活動希望者
申・問 県身体障害者連盟☎073(423)2665　FAX073(428)0515

生活教養講座(木曜教室)
衣食住に役立つ基礎知識を習得
時 9月11日～11月13日の毎週木曜日 13:30～15:30
場 県消費生活センター(和歌山市)
定 50人(先着順)
申・問 電話で9月9日までに会場☎073(433)1551

「ものを大切にする心」を育てる運動推進ポスターコンクール
省資源・省エネ、リサイクル等の実践を呼びかけるポスター
規格 四つ切り画用紙で1人1点
対 県内在住の小・中学生
申 9月30日までに各学校で取りまとめ県庁県民生活課
問 申込先

交通安全ファミリー作文
テーマ「我が家の交通安全」
規格 400字詰め原稿用紙で、小・中学生は3枚以内、一般は5枚以内
申 住所、氏名、年齢、電話番号、学校名(所在地)・学年又は職業を記入し、9月10日までに(社)日本交通福祉協会〒101-0021東京都千代田区外神田2-2-17 共同ビル
問 申込先☎03(3255)2081

金融広報バス教室
貸切バスで日本銀行大阪支店、大阪造幣局を訪問
時 10月17日(金)8:20県庁正面
対 県内在住の15歳以上の方
定 42人 抽
費 無料(昼食は各自持参)
申 往復ハガキ(1枚に2人まで)に住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業、性別、電話番号を記入し、8月30日までに県庁県民生活課「金融バス」係
問 申込先

危険物取扱者保安講習
時・場 **9月9日(火)、10(水)、11日(木)**＝県民文化会館(和歌山市)、**9月18日(木)**＝東牟婁総合庁舎(新宮市)、**9月19日(金)**＝紀南文化会館(田辺市)、**9月24日(水)、25日(木)**＝東燃ゼネラル石油(株)和歌山クラブ(有田市)
対 危険物製造所等で危険物取扱作業に従事している方で、前回講習受講後3年以内の方
申 8月19～21日に県庁消防防災課、各振興局地域行政課、有田市消防本部へ来所
問 県庁消防防災課

初級スポーツ教室
時 10月5日～12月22日
場 県体力開発センター(和歌山市)
費 5,500～8,000円(保険料込)
申 **幼児・児童**＝往復ハガキに希望教室名、住所、氏名、年齢(生年月日)、学年、保護者名、電話番号を記入し、8月30日までに会場〒640-8392和歌山市中之島2252　※1人1教室につき1枚
成人＝9月7日9:00から会場受付(先着順)
問 会場☎073(431)7173

対象	種別	教室名	曜日	定員
幼児・児童	体操	3歳児と親	火	20
		4～6歳児	月	各30
		小学1～6年生	月	
	水泳	1～3歳児と親	金	各50
		4～6歳児	木	
		小学1～2年生	土	
		小学3～6年生	日	
成人女性	体操	レディースアスレティック	月・火・木	各30
	水泳	レディーススイミング	月	50
成人男女	体操	アスレティックナイト	月	各30
		アスレティック＆アクア	木	
		リズムエクササイズ	金	25
		アスレティックシルバー	月・木	各30
	水中体操	アクアシルバー	金	
		アクアエクササイズ	月	40
	水泳	ナイトスイミング	土	50

県優良土産品推せん審査会出品
対 県内で製造・加工された土産品全般(製造販売1年以上のもの)
申 所定の申請書で9月8～10日に各振興局地域行政課(和歌山市内は市観光課)
問 申込先、県庁観光交流課

県立医大看護短大部公開講座
テーマ「毎日の生活を見直そう」
時・場 **9月13日(土)**＝医大看護短大部(和歌山市)
9月27日(土)＝御坊商工会館(御坊市)
10月18日(土)＝佐野会館(新宮市)
※いずれも13:30～16:00
申 ハガキ、FAXに希望日、住所、氏名、電話番号を記入し、医大看護短大部〒641-0011和歌山市三葛580 FAX073(446)6720
問 申込先☎073(446)6700

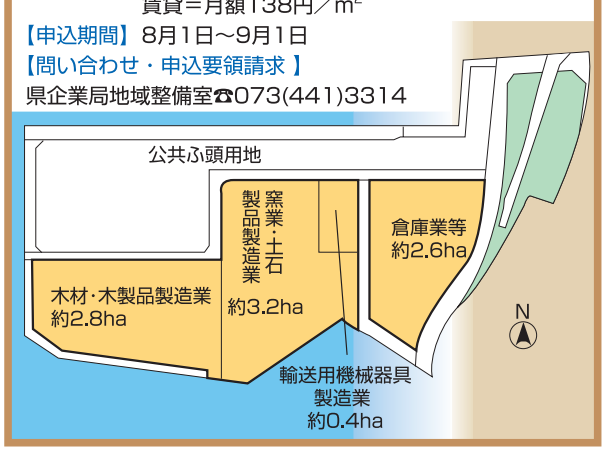
健康講座「腎臓病について」
時 9月5日(金) 13:30
場 高野口町産業文化会館
定 50人(先着順)
申 電話又はFAXで住所、氏名、電話番号を県立医科大学事務局総務課「健康講座」係 ☎073(441)0710 FAX073(441)0713
問 申込先

北方領土返還要求運動の標語
ハガキ又はEメールで住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業を記入し、9月30日までに北方領土問題対策協会〒102-0094東京都千代田区紀尾井町6-26-3 上智紀尾井坂ビル hok_tok@hoppou.go.jp
問 申込先☎03(3263)7691

自動車リサイクル法説明会
自動車解体業・破砕業の許可基準等についての説明会
時 9月24日(水) 13:00～15:30
場 和歌山市民会館
定 1,400人(先着順)
申 ハガキ、FAXに住所、氏名、電話番号、参加人数を記入し、近畿経済産業局環境・リサイクル課〒540-8535大阪市中央区大手前1-5-44 FAX06(6966)6081
問 申込先☎06(6966)6018

日高港企業用地の分譲・賃貸募集中！

御坊市塩屋地先の公有水面埋立造成地 約9ha
【募集価格】分譲＝約27,000円／m²
賃貸＝月額138円／m²
【申込期間】8月1日～9月1日
【問い合わせ・申込要領請求】
県企業局地域整備室☎073(441)3314



8/25～ 住基ネットでさらに便利に!

8月25日から住民基本台帳ネットワークシステム(住基ネット)の第2次サービスが始まります

住民基本台帳カードの交付
居住する市町村に申請すれば、住民基本台帳カード(以下、住基カード)が交付されます(有料)。住基カードは住基ネットでの本人確認に利用できるほか、写真付きカードを希望した場合は公的証明書として利用できます。

住民票写しの広域交付
住基カードや運転免許証等を提示すれば、全国どこの市町村でも自分の住民票の写しを取ることができます。

転入転出手続きの簡素化
住基カードの交付を受けていれば、転出届を郵送で行い、転入先の市町村でカードを提示して転入届を行うことによって、窓口に行くのは1回だけで済むようになります。

個人情報の保護に努めます
○保有情報の内容や提供先を法律で限定
○守秘義務に違反した行政機関の職員に対する刑罰を強化
○ネットワークは安全性の高い専用回線で結び、不正アクセス遮断装置の設置及び24時間体制での監視を実施

住基ネットの利用により、県が行う以下の事務で既に住民票写しの添付等が不要となっています。
詳しくは、各申請窓口まで。
パスポートの発給、危険物取扱者免状の交付、旅行業等の登録、通訳案内業の免許、職業訓練指導員の技能検定、建設業の許可、浄化槽工事業の登録、宅地建物取引業の免許、地方公務員共済年金の支給等。

問 県庁市町村課☎073(441)2191

8月	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日	
9月	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火		

ごあんない

障害者居宅介護従事者の資格要件証明書の交付について

障害者居宅介護サービスを充実させるため、ホームヘルパー等養成研修を修了していなくても資格要件に該当する方に居宅介護従事者の証明書を交付します

対 平成15年3月31日現在で障害者の居宅介護に従事している方、もしくは今後従事予定で9時間以上の実務経験を有する方

申 所定の申請書で8月1日～平成16年2月27日に事業所の所在する市町村役場

問 県庁障害福祉課

介護支援専門員の皆さんへ

皆さんが日常業務の中で抱えている課題や悩みを解消するため「ケアマネジャー・サポートセンター」を開設しましたので、気軽にご相談ください。

月～金曜日 10:00～15:00
専用　☎080(5718)3021

保育士の登録について

児童福祉法の一部改正により、現在保育士として業務を行っている方は、平成18年11月28日までに、都道府県に登録申請し、「保育士証」の交付を受けなければなりません。また今後、保育士業務を行う見込みのある方は、業務に就くまでに登録をしておく必要があります。

※登録をしなくても資格は失いません。

問 県庁子育て推進課

児童扶養手当、特別児童扶養手当受給者の皆さんへ

8月1日～9月1日に、お住まいの市町村へ「現況届(所得状況届)」を提出してください。提出がないと、8月分以降の手当は支給されません。

問 各市町村役場、各振興局健康福祉部、県庁子育て推進課、県庁障害福祉課

住宅金融公庫融資ご利用の方へ

収入の減少等により返済に不安を感じている方は早めにご相談ください。※土曜日も可

問 住宅金融公庫大阪支店返済相談室☎06(6281)9284

紀州備長炭の生産者、流通・販売業者の皆さんへ

県木炭協会が発行する紀州備長炭証明シールを貼った商品のみ国内線での航空機輸送が認められています。せっかくのお土産が機内に持ち込めないというトラブルを防ぐためにも、シールの貼付(審査・発行 1枚2円)をお願いします。

問 県木炭協会☎0738(42)0017

優秀映画鑑賞会

時・内容
9月13日(土) 13:00～「長靴をはいた猫」、「次郎物語」
9月14日(日) 13:00～「ぼくらの七日間戦争」、「野菊の墓」

場 県立図書館(和歌山市)
定 250人(先着順)
費 大人500円、小中高校生300円
問 実行委員会(図書館文化情報センター内)☎073(436)9530

和歌山矯正展

イベントと作業製品の展示即売

時 9月6日(土) 10:00～16:00
　　7日(日) 10:00～15:00
場 和歌山刑務所(和歌山市)
問 会場☎073(471)2351

試験

大学入学資格検定

時 11月15日(土)・16日(日)
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
願書受付 9月16～29日
願書配布・問 県教育委員会県立学校課

県育休任期付職員採用

育児休業取得中の職員の代替職員として勤務(任用期間はおおむね8カ月以上3年未満)

時 9月28日(日)
場 県立和歌山東高校(和歌山市)、県立田辺工業高校(田辺市)、県立新宮高校(新宮市)

試験区分・採用予定人数
①一般事務4人程度、②社会福祉(心理判定員)、③薬剤師、④保健師 ②～④各1人程度

勤務場所 ①和歌山市・海南市・海草郡、②③和歌山市、④新宮市
受験資格 昭和22年4月2日～昭和60年4月1日に生まれた方(②は～昭和56年4月1日)
※人事委員会が同日に実施する他の試験と重複申込みはできません
申込書配布 県人事委員会事務局、県パスポートセンター、各振興局県民行政部総務課等
申 郵送＝8月22日～9月5日
持参＝9月1～5日に県人事委員会事務局
問 申込先☎073(441)3763

職業訓練指導員

時 10月19日(日) 9:00～
場 県立和歌山高等技術専門校(和歌山市)
申 9月5～17日に県庁雇用推進室
問 申込先

行政書士

時 10月26日(日) 13:00～
場 和歌山ビッグホエール(和歌山市)
願書配布 8月1～29日に県行政書士会、県庁市町村課、各振興局地域行政課
問 (財)行政書士試験研究センター
☎03(5725)7460

液化石油ガス設備士

時・場 筆記＝11月9日(日) 県勤労福祉会館(和歌山市)
技能＝11月23日(日) 農協物流わかやま(海南市)
願書配布 県庁消防防災課、各振興局地域行政課
申 8月25日～9月5日に和歌山県液化石油ガス試験事務所
問 申込先☎073(475)4740

和歌山県歯科衛生士専門学校

対 高卒(見込)以上の女子 40人
願書受付 推薦＝9月10日～10月8日、11月12日～12月10日
一般＝2月12日～3月4日
問 同学校☎073(431)8616

高圧ガス製造保安責任者 高圧ガス販売主任者

時 11月9日(日) 9:30～
場 県立星林高校(和歌山市)
願書配布 県庁消防防災課、各振興局地域行政課
申 8月25日～9月5日に高圧ガス保安協会和歌山県試験事務所
問 申込先☎073(432)1896

人権連載

育児で悩んだら「子育てサポートルーム」へ

体験することで子育てのコツをつかみましょう

「聞きわけがない」、「人見知りが激しい」といった性格のことや、身体のこと、食事のこと、生活習慣のことなど、日々の子育ての中で、ちょっと気になることや悩みは誰にもあるものです。そんなとき、県や市町村の相談窓口のほか、「子育てサポートルーム」があることを知っておいてください。

「子育てサポートルーム」は、保護者の方がお子さんといっしょに乳児院へ体験入所するもので、その中で看護師や保育士などの専門職員から個別的・具体的なアドバイスを受けることができます。

子どもにも当然、人間らしく生きる、誰にも侵すことできない権利＝人権があり、それを侵害する最たるものが児童虐待です。小さな悩みが積み重なって虐待につながる場合があります。どんな小さなことでも、一人で悩んでいないで気軽にご相談ください。

子育てサポートルーム

対象 3歳未満の子どもとその保護者

内容
- 児童福祉施設「和歌山乳児院(和歌山市)」で行われる育児・保育に参加し、授乳や食事、遊び、関わり方等を体験
- 健康や発達、その他子育てに関する個別相談

費用 無料(但し、保護者の飲食費は自己負担)
申込・問合先 和歌山乳児院☎073(479)1191
県庁子育て推進課

※和歌山乳児院は、家庭の事情により子どもの養育が困難になったとき、家庭に代わって子どもを養育する施設です。

人権フォトコンテスト2002
久山靖夫さん（和歌山市）

「人権の詩(こころのうた)」募集

人権をテーマにした詩を募集します
※内容に合った題名をつけてください。詩の長短は自由。
※一般・中学生・小学生以下の各部門ごとに、知事賞1名(賞状・副賞3万円(高校生以下は図書券))等を贈呈。
対 県内に在住・勤務・通学している方
申 郵便、FAX、Eメールに作品と住所、氏名、年齢、勤務先(学校名・学年)、電話番号を記入し、9月12日までに県人権啓発センター〒640-8319和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛2階　FAX073(435)5421 Eメール mail@w-jinken.jp
問 申込先☎073(435)5420、各振興局県民行政部総務課

『人権に関する県民意識調査』にご協力を！

8月下旬頃、県内在住の20歳以上の方3,000人(無作為抽出)に調査票を郵送しますので、ご協力をお願いします
問 県庁人権施策推進室

人権相談 8月スタート

人権に関するさまざまな問題や悩みについて、気軽にご相談ください

電話相談(人権ホットライン) ☎073(421)7830(ナヤミゼロ)
毎週月～金曜日 9:00～16:00(祝日、年末年始を除く)

弁護士相談(面接相談)※要予約
毎月第2・4木曜日13:00～16:00(祝日の場合その翌日)
予約・問合先 和歌山県人権啓発センター☎073(435)5420

旧軍毒ガス弾等に関する情報提供のお願い

旧軍毒ガス弾等による被災事故の防止を図るため、8月22日までに、できるだけ具体的な情報提供をお願いします
いつ、どこで、どのような毒ガス弾等(種類・形状、量)が、保管・処理・廃棄・発見され、その後どうしたか、また、どのような被災にあったか等の情報をお知らせください
連絡先　県庁環境管理課　☎073(441)2688 FAX073(441)2689

個人事業税(前期分)の納期限は9月1日です
問 各振興局税務課(海草は税務部事業税課)

催し

県立近代美術館 ☎073（436）8690
■「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」 ～8月31日(日)

県立博物館 ☎073（436）8670
■コーナー展「文化財ってなんだろう?」 ～8月31日(日)

片男波公園 万葉館 ☎073（446）5553
■「和歌浦小学校6年生 短歌・俳句展示会」
8月8日(金)～9月28日(日)

県植物公園緑花センター ☎0736（62）4029
■親子で楽しむハーブ教室 8月24日(日)
※事前申込必要(先着順)、材料費自己負担
■ハスの花の写真展 9月6日(土)～28日(日)

県動物愛護センター ☎073（489）6500
■いぬ・ねこの譲渡講習会
8月24日(日)、9月10日(水) いずれも14:00
※申込不要、講習を受けなければ譲渡できません

和歌山県公館 一般開放
日時 8月24日(日)、9月14日(日) 10:00～16:00
交通 バス停「不老橋」下車 ※駐車場はありません
問合 県庁管財課☎073(441)2214

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073（441）2359
【常設相談】月～金曜日（東牟婁振興局☎0735(22)8551 水曜日を除く） 場所／県庁交通事故相談所、東牟婁振興局
【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 8月18日(月)、9月1日(月) 受付／13:00～14:00 ●東牟婁振興局 8月15日(金)、9月5日(金) 受付／正午まで （電話予約必要）
【巡回相談】西牟婁振興局9月10日(水) 受付／11:00～15:00

県民相談 ☎073（441）2356
【常設相談】月～金曜日 場所／県庁県民相談室
【弁護士による相談】場所／県庁県民相談室 ※先着各20人
●8月29日(金)<☎予約8/20～> ●9月9日(火)<☎予約9/1～> ●9月19日(金)<☎予約9/10～>
【移動相談】●9月4日(木) 日高町・中央公民館<☎予約8/21～日高振興局0738(24)2904> ●9月16日(火) 那智勝浦町・町民センター<☎予約9/2～東牟婁振興局0735(21)9605> ●9月25日(木) 野上町・中央公民館<☎予約9/11～海草振興局073(441)3352>
※各先着10人(予約開始日に注意)

高齢者相談 ☎073（435）5212
【常設相談】月～金曜日
【専門相談】医療、リハビリ、保険・年金、税金、栄養、住宅、法律、健康 ※日時はお問い合せください
【弁護士による相談】8月15日(金)（電話予約必要）
場所／県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

旧和歌山県議会議事堂(一乗閣)修復保存「緑のサポーター」募金のお願い

一乗閣は、明治30年に建設された和風建築の議事堂で、現在、岩出町・根来寺境内に移築されています。

県では、紀ノ川沿いに点在する文化遺産を「紀ノ川緑の歴史回廊」として観光ルート化し、一乗閣をその拠点施設として平成16年度から3カ年をかけて修復整備することとしています。

これを受け、募金を集めてこの事業を支援しようと、県議会議長をはじめ、一乗閣にゆかりのある方等が中心となって「緑のサポーター」募金推進会が発足しました。多くの皆さんのご協力をお願いします。

募金の振込先 紀陽銀行県庁支店 普通353938 「緑のサポーター」募金推進会
募金期間 平成16年6月30日まで
問い合わせ 推進会事務局(県庁文化国際課内) ☎073(441)2056

わかやま北南 NEWS

山茶(やまちゃ)を見直そう!

日本自然茶研究会発足
～秋篠宮殿下も出席されました～

龍神村に野生化している山茶を見直そうと、全国的に著名な茶の研究家や大学教授などが発起人となり、7月8日に龍神村で「日本自然茶研究会」が発足しました。設立記念の研究報告会には秋篠宮殿下も出席され、その後の茶話会では、釜炒(かまい)り茶(ちゃ)実演を興味深くご覧になったり、参加者と親しく懇談されました。

この研究会では山茶の歴史や広がり方について調査・研究を進め、龍神村を人が必要以上に手を加えない自然茶造りのモデル地域として全国への情報発信を計画しています。

龍神村

「第28回井上春成(はるしげ)賞」を受賞しました!!

県工業技術センターの谷口久次化学技術部長と築野食品工業株式会社（かつらぎ町）が、米ぬか油の製造過程で出る廃油からフェルラ酸※という物質を安価に大量生産する技術を開発した功績により「井上春成賞」を受賞しました。この賞は、科学技術振興事業団が、大学や研究機関等の独創的な研究成果を基に企業が事業化した優れた技術について、その研究者と企業を表彰するもので、今回、自治体の研究機関と企業の共同研究としては初めての受賞となりました。

※フェルラ酸 現在、食品の酸化防止剤をはじめ香料や化粧品の原料として使用されており、将来は発がん予防や糖尿病治療等への用途展開が期待されています。

第36回 和歌山県民文化祭

総合的な問い合わせは、
県庁文化国際課☎073(441)2052

9月開幕

【音楽・演劇など】

●和歌山県謡曲流友会 謡曲大会
日時 9月6日(土)13:00～17:00
場所 県民文化会館(和歌山市)

●紀の国やっちょん祭り
日時 9月6日(土)～7日(日) 14:00～
場所 伊都郡・橋本市内特設会場

●那智勝浦吹奏楽団 定期演奏会
日時 9月7日(日) 19:00～20:30
場所 那智勝浦町観光会館
入場料 一般500円 高校生以下300円

●田辺合唱連盟 紀南合唱祭
日時 9月7日(日) 13:30～16:00
場所 紀南文化会館(田辺市)

●マリンバアンサンブル WAKAYAMAコンサート
日時 9月7日(日) 14:00～16:30
場所 県民文化会館(和歌山市)
入場料 一般1,300円 小中高生700円

●劇団華岡青洲「華岡青洲の妻」
日時 9月8日(月) 14:00～16:00
場所 打田町保健福祉センター

●和歌山文化協会 名月に舞う
日時 9月11日(木) 18:00～
場所 県立近代美術館前庭園 (和歌山市)

【展覧会・文芸など】

●花のきらめき展（いけばな展）
日時 9月11日(木)～14日(日) 10:00～16:00
場所 県民文化会館(和歌山市)

●物語られた世界～歴史と文学
和工専教官による公開講座
日時 9月13日(土) 13:30～16:30
場所 御坊市中央公民館

●和歌山川柳大会
日時 9月14日(日) 10:00～17:00
場所 紀南文化会館(田辺市)

自然博物館

名前を調べる会と工作教室

植物や昆虫、貝類、岩石などの名前調べと木や竹を使った工作
※事前申込は不要
日程 8月24日(日) 10:00～15:30
会場 海南市市民会館
費用 無料(材料費が必要なもの有)

家族で体験 夜の水族館

日程 ①9月6～7日 ②9月20～21日 ③9月27～28日(すべて土・日曜 1泊2日、初日の14時集合)
会場 自然博物館(海南市)
対象 3歳以上の子どもとその家族 各回30人(抽)
費用 1人2,000円(食費等)
申込 往復ハガキに行事名及び参加希望日と全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、8月23日までに会場

魚にエサをやろう②

日程 9月15日(祝) 14:00～16:30
会場 自然博物館(海南市)
定員 20人(抽)
※小学4年生以下の場合は保護者の同伴必要
費用 入館料＋103円(保険料)
申込 往復ハガキ又はEメール(esa@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp)に行事名と全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、9月1日までに会場

申込・問合
県立自然博物館
〒642-0001
海南市船尾370-1
☎073(483)1777

青少年の家

夏だ! アロハサーフィン教室

海に入るまでの基本を学ぶ
日程 9月6～7日(1泊2日)
会場 紀北青少年の家 (かつらぎ町)
対象 高校生～一般 20人(抽)
費用 3,500～4,000円
申込 電話、FAX、ハガキで8月22日までに会場

野外レストラン(料理教室)

日程・メニュー
①9月13日(土)＝ざるそば
②9月27日(土)＝パエリア
会場 紀北青少年の家 (かつらぎ町)
定員 ①50人 ②60人 (抽)
費用 500～1,000円(材料費)
申込 電話、FAX、ハガキで開催日の5日前までに会場

感動体験 スキューバダイビング

日程 9月13～14日 (1泊2日)
会場 白崎青少年の家(由良町)
対象 中学生～一般 20人(抽)
費用 12,200～12,770円
申込 電話、FAX、ハガキで9月4日までに会場

ハガキ・FAXで申し込む場合
参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望講座名を記入してください。

申込・問合
紀北青少年の家 〒649-7112かつらぎ町中飯降1317-3 ☎0736(22)5530 FAX0736(22)5531
白崎青少年の家 〒649-1123由良町大引961-1 ☎0738(65)2351 FAX0738(65)2352